

# 中部防災ニュース

平成29年  
2月号

発行  
静岡県中部危機管理局  
電話 (054) 644-9104  
メール chuubou@pref.shizuoka.lg.jp

東日本大震災からまもなく6年。この震災で亡くなられた方の約9割が溺死とされています。海岸線が約500kmもある静岡県。「3.11」を忘れずに津波に備えることが求められています。

## 「釜石の奇跡」を生んだ“避難三原則”

1,000人を超える死者・行方不明者を出した岩手県釜石市。しかし、小中学生に限ってみれば、生存率99.8%。この生存率の高さの背景に何があったのでしょうか。

釜石市は、2005年から群馬大学の片田敏孝教授を招き、学校での防災教育に取り組んでいました。子どもたちは、教授の教えを守り、自ら主体的に津波から避難していたのです。教授の教えとはどんなものだったのか？片田教授の「避難三原則」を紹介します。

(参考図書：片田敏孝『人が死なない防災』集英社新書)

### 原則1 想定にとらわれるな！

ハザードマップの情報を過信してはいけません。あくまでも想定です。「ハザードマップでは、ここは大丈夫なはず」という油断が、避難を遅らせます。今そこにある危険を主体的に判断し、迅速に行動しましょう！



### 原則2 いかなる状況下でも、最善を尽くせ！

相手は自然。想定外の事態が起こることもあります。訓練どおり行動することがよいとは限りません。自分が置かれた状況を見極め、どこにどのように避難することが最善かを考えて行動しましょう。釜石の子どもたちは指定された避難場所に到着した後も、津波の様子から危険を感じると、更に高台を目指して避難し、命を守りました。



### 原則3 率先避難者たれ！

まずはあなたが勇気をもって逃げるのが大切。あなたが率先して逃げることは、あなたの命を守りぬくと同時に、周りの人たちの避難行動に繋がります！大きな声で「津波が来るぞ！逃げろぞ！」と、叫びながら避難しましょう。



ちょっと早いお知らせですが…

**3月6日(月)～15日(水)は  
津波対策推進旬間です！**

地震だ！津波だ！  
すぐ避難！



この期間中、沿岸部の市町では津波避難訓練を実施します。沿岸部にお住まいや勤務先がある皆さん、ぜひ参加しましょう。津波避難場所や避難経路の確認もおきましょう。





# あなたの力が地域を支える！ 消防団に入ろう！

消防団は市町村ごとに設置され、消防署と連携して火事や災害から地域を守る活動をしています。  
「自分たちの地域は自分たちで守る」の精神の下、地域防災を担う心強い存在です。

## 消防団員の身分は？

消防士と違い、普段はそれぞれの仕事をしています（**全国の消防団員の約7割が雇用者**です）。消防団員として活動しているときは**特別職の地方公務員**となります。



## 女性の消防団員はいるの？

女性の消防団員も増えています。現在**全国で約2万3000人**。特に高齢者宅の防火訪問、応急手当の普及指導等で活躍しています。

## 消防団への入団手続きは？

一般的に18歳以上であれば、**お住まいや勤務先がある市町**の消防団に入団できます（入団手続き等は**市役所・町役場や消防署**にお問い合わせください）。

## 消防団活動への御理解、御協力をお願いします！

かつて全国に約200万人いた消防団員も、現在は86万人。**減少が止まりません**。このため、大多数の市町で定員割れ。**1人でも多くの入団が望まれます**。皆さんの御理解、御協力をお願いします。

## 消防団員を雇用している事業所等を応援する県条例があります。

次の条件を満たすと事業税額の2分の1相当額が控除されます（100万円限度）。

- ・県内のすべての事業所等が「[消防団協力事業所表示制度](#)」の認定を受けていること。
- ・県内の事業所等における使用人等のうち、消防団員が1人以上（出資金の額が1億円を超える特別法人にあっては3人以上）いること。
- ・消防団活動に配慮した規程（就業規則等）を整備していること。



お問い合わせ・申請先 静岡県中部危機管理局（地域支援課） ☎ (054) 644-9168

静岡県 消防団活動 |



## 進め！防災女子



「防災」といえば、「男性が中心」というイメージをお持ちの方が多いかもしれませんが、最近、女性の力を防災に生かす取組が活発になっています。女性の意見を取り入れることで、“みんな”にやさしい防災対策が進んでいくといいですね。

「進め！防災女子」では、折に触れ、女性に役立つ防災情報を紹介していきます。



## あったらうれしい 防災アイテム セレクション！

### これがあれば災害時に心強い

#### 使い捨てマスク

感染症予防や有害物質の遮断のほか、すっぴんも隠せるよ



#### 長袖シャツ

肌の露出を減らすと、怪我の防止になるよ



#### 歩きやすい靴

帰宅困難時には、長距離を歩くことになるかも



#### 大判ストール

防寒対策のほか、首や腰に巻けば着替えや用足しにも使えるよ



#### 帽子

寒さ、紫外線、熱中症を防いだり、頭を保護するのにも使えるよ

#### 靴下と軍手

避難時の手足の保護に。冷え症対策にも使えるね



### 職場にあると安心

- 1 下着
- 2 タオル
- 3 着替え
- 4 非常食・おやつ
- 5 生理用品
- 6 常備薬
- 7 マスク
- 8 使い捨てカイロ
- 9 ウェットティッシュ
- 10 化粧品
- 11 ミニライト



おやつならいつばい備蓄しましたが、何か？

（出典：なでしこBOSA | パワーズ「備えて安心リスト」）



「なでしこBOSA | パワーズ」とは、県危機管理局の女性職員を中心に県民などで構成される団体。女性の力を防災対策に生かすため、様々な取組を続けています。